

令和6年度 公益財団法人山形市文化振興事業団事業報告

令和6年度は、前年度に続いて全国的に気温の高い1年となり、不要不急の外出を控えるよう国からも注意が発出され、秋になっても暑さが衰えない事も特徴的であった。そうした中、山寺芭蕉記念館と最上義光歴史館では、山形市制施行135周年、及び開館35周年を掲げての事業展開を行った。

山寺芭蕉記念館では、館内空調設備の老朽化のため空調設備改修工事が行われた。研修棟は7月・8月に、展示室は9月・10月にそれぞれを閉鎖し、その間、10月15日から10月29日まで企画展「おくのほそ道写真展」を研修室Iにて行い、見学を希望する来館者の鑑賞に供した。また、特別展「芭蕉とその時代」では、芭蕉作品の紹介とその背景である江戸文化に焦点をあてた構成によって、芭蕉文学を理解していただける展示を目指した。

最上義光歴史館では、6年ぶりに市民の宝物展として開催した、企画展「シン・市民の宝モノ2025」はテーマを陶磁器に絞って開催し、好評を博した。一方、企画展示「鐵[kurogane]の美2024」では刀の独特の鍛え“綾杉肌”を紹介し、郷土が生んだ刀工の作品を公開して刀剣マニアの来館を誘い入館者数を増やした。また、企画展示「最上義光と連歌」では最上義光と連歌に関わる資料を展示して最上家の文化水準の高さなどを紹介した。

こうした取り組みの結果、山寺芭蕉記念館は展示室と研修棟それぞれ約2カ月の工事を行ったため、入館者数は前年度対比18.2%の減少であった。

最上義光歴史館の入館者数は前年度対比で20.9%の増加となった。

山寺芭蕉記念館

1. 事業計画による主催事業について

(1) 展示事業

①企画展「お雛さまの美 -雛飾りと紅花、そして「源氏物語」-

江戸時代の雛人形を中心に構成し、雛人形や桃の節句の歴史とその美術を展示して、日本文化の一端を紹介した。

○開催期間 4月1日(月)から4月8日(月)(延べ日数8日間)

○入館者数 146名:1日平均約18名

(前年度は「お雛さまの美 -山形に伝わる《桃の節句》の彩り-」開催、前年度同期10日間で入館者194名)

○総入館者数は2月21日~4月7日延べ41日間で976名:1日平均約24名
(前年度は61日間で1,393名)

②企画展「芭蕉の周辺と蕉門 -芭蕉と江戸俳壇-

芭蕉が師事した俳人や門人などの作品を公開し、芭蕉と蕉門が当時の俳諧文化に与えた影響を紹介した。

○開催期間 4月12日(金)から6月9日(日)(延べ56日間)

○入館者数 1,749名:1日平均約31名

○ギャラリートーク 5月19日(日) 参加者5名

(前年度は「芭蕉と門人たち-芭蕉をめぐる江戸俳壇-」開催、前年同期58日間で入館者1,932名)

③企画展「妖怪 -「もののけ」の表現、江戸時代から現代まで-

江戸時代から現代までの妖怪に関わる歴史資料や美術作品を公開し、日本文化の一端を紹介した。

関連事業としてトワイライトミュージアム、ギャラリートークを実施した。

○開催期間 6月14日(金)から8月29日(木)(延べ74日間)

○入館者数 4,674名:1日平均約63名

○関連事業 ギャラリートーク 7月28日(日) 解説 相原一士学芸員
参加者14名

○関連事業 トワイライトミュージアム

・開催日時 8月3日(土) 午後4時30分から午後6時30分

・内 容 ギャラリートーク 相原一士学芸員

講演1 「『山海経』とは何か『山海経』に見る古代中国
ロマン」 洋画家 安井 敏也氏

講演2 「山形もののけ夜話」 作家 黒木 あるじ氏

・参加者 54名

(前年度は「絵画に見る芭蕉の世界-漂泊の詩人の旅と俳諧-」、「妖怪探訪-

“もののけ”の不思議な世界―」開催、72日間で4,303名)

※空調設備改修工事のため展示室閉鎖(9月3日(火)~10月29日(火))

④「おくのほそ道写真展」

研修室1において、坂田 燦氏の「おくのほそ道」版画、東海林 隆氏「奥の細道」写真、フォート山形「芭蕉 奥の細道」(写真)の展示を行った。入館料は無料とした。

○開催期間 10月15日(火)から10月29日(火)(延べ15日間)

○入館者数 1,297名:1日平均約86名

(研修室1において短期間の展示のため、前年度との対比行わない。)

⑤特別展「芭蕉とその時代 ―江戸時代の文学・芸術、そして旅―」

本展では、芭蕉の生き方、感性に影響を与えた、江戸時代の文学・芸術、そして旅の一端を通して、芭蕉文学を理解する手がかりとした。

○開催期間 11月2日(土)から12月16日(月)(延べ40日間)

○入館者数 2,102名:1日平均約53名

○ギャラリートーク 11月10日(日) 解説 相原一士学芸員 参加者4名

(前年度事業と開催時期が大幅に違うため、前年度との対比は行わない。)

⑥企画展「収蔵名品展 ―書画の美―」

収蔵品の中から名品を展示した。㊦長谷川コレクションや頼原退蔵・尾形仍コレクション、番場三雄氏から寄贈を受けた絵画作品等の芭蕉関連以外の名品も公開した。

○開催期間 12月20日(金)~2月17日(月)(延べ46日間)

○入館者数 653名:1日平均約14名

○ギャラリートーク 1月19日(日) 解説 相原一士学芸員 参加者5名

(前年度事業と開催時期が大幅に違うため、前年度との対比は行わない。)

⑦企画展「お雛さまの美 ―山形に伝わるお雛さま―」

江戸時代の雛人形を中心に展示して桃の節句の歴史を紹介するとともに、雛人形に用いられた紅染と紅花交易の関係にも触れた展示を行った。

○開催期間 2月21日(金)から3月31日(月)(延べ33日間)

○入館者数 779名:1日平均約24名

○関連事業 ギャラリートーク 3月16日 解説 相原一士学芸員

参加者8名

紙雛作成体験(2/21~4/7) 参加者18名

○総入館者数 (2月21日(金)~4月7日(月) 延べ40日間) 総入館者数976名:1

日平均約 24 名（前年度は 60 日間で 1,678 名）

(2) 普及啓発事業

①第 67 回全国俳句山寺大会

俳句の普及と振興をはかるため、山寺文化保存会と共催し、名勝山寺の地で芭蕉が訪れた時期に俳句大会を開催した。

○日 時 7月7日(日)

○選 者 上田日差し氏（「ランブル」主宰）、堀田季何氏（「楽園」主宰）、渡辺誠一郎氏（「小熊座」同人）、鈴木正子氏（「初蝶」同人）、伊藤 寛氏（「古志」同人）、牧 静氏（「苾」同人）、伊藤ふみ氏（「馬酔木」同人）

○事前投句数 1,031 句(前年度 1,493 句)

○大会参加者 54 名(前年度 66 名)

②「野外映画上映会」

山形市、山形市創造都市推進協議会、(NPO)山形国際ドキュメンタリー映画祭、当事業団の主催により、山寺芭蕉記念館駐車場で上映した。

○開催日時 9月14日(土) 午後6時30分から

○上映作品 「ペルリンプスと秘密の森」(ブラジル アニメーション)

○参加者数 77 名

(前年度は、「シチリアを征服したクマ王国の物語」を上映し、参加者 36 名)

③ヨガ教室

山寺コミュニティーセンターとの共催により、山寺芭蕉記念館及び山寺コミュニティーセンターで実施した。

○開催日時・参加者数 ・5月11日(土) 17 名

・11月16日(土) 12 名

(前年度は3回開催で、参加者数 47 名)

④第 16 回山寺芭蕉記念館英語俳句大会

英語俳句を通して俳句の更なる交流促進、俳句文化の国際交流をはかるとともに、英語教育や文化、観光振興に寄与することを目的とした。

今年度は募集期間を7月1日から8月23日とした。

○審査委員 飯島 武久氏(国際日本文化研究会顧問・山形大学名誉教授)

大場 登氏(第16回山寺芭蕉記念館英語俳句大会実行委員会委員長)

万里小路 譲氏(詩人・評論家)

リサ ソマーズ氏(翻訳家)

相馬 周一郎(公益財団法人山形市文化振興事業団理事長)

○投句数 3,389 句(前年度 3,089 句)

○参加者数 2,397 名(前年度 2,358 名)

⑤第 31 回山寺芭蕉記念館文化セミナー

広い視野で日本文化と歴史を見つめる講座を開設し、市民文化の向上をはかるとともに新たな視点を提示する。3回連続講座。今年度は「芭蕉を生んだ江戸文化－江戸時代の文化から芭蕉を探る－」と題して開催した。

○第 1 回「江戸の『お勉強』－芭蕉たち文学者はどうやって古典の知識を身に付けたのだろうか？」

・日時・講師・参加者 11月2日(土) 山本 陽史氏(放送大学山形学習センター
所長・山形大学名誉教授) 参加者 47 名

○第 2 回「近世文学における芭蕉の位置」

・日時・講師・参加者 11月9日(土) 原 淳一郎氏(米沢女子短期大学教授)
参加者 27 名

○第 3 回「山形の山と版画」

・日時・講師・参加者 11月23日(土・祝) 佐藤 琴氏(山形大学学術研究院
教授) 参加者 25 名

(前年度、「文学・歴史の深層－文学・歴史を創った人々とその背景－」と題し、参加者は 107 名)

⑥ボランティアガイド支援事業

○日 時・参加者数 ・6月9日(日) 奥の細道マイスターの会会員 15 名

・11月9日(土) 奥の細道マイスターの会会員 18 名

(前年度は実施無し)

⑦第 55 回芭蕉忌俳句大会

俳句の普及と振興をはかるため、山形県俳人協会と共催し、山寺の地で芭蕉を偲び句会を開催した。

○日時 11月17日(日)

○選者 鈴木 正子氏(「初蝶」同人)、伊藤 寛氏(「古志」同人)、
牧 静氏(「苾」同人)、伊藤 ふみ氏(「馬酔木」同人)

○投句数 508 句(前年度 480 句)

○参加者数 31 名(前年度 29 名)

⑧ボランティアガイドブラッシュアップ講座

山寺芭蕉記念館のガイドができるボランティアの養成、及び現在活動中のボランティアガイドのブラッシュアップのための講座を行った。

○日時・内容・参加者数

・12月15日(日)

- ・江戸時代の絵画の見方ー展示作品よりー

山形大学学術研究院教授 佐藤 琴氏

- ・山寺立石寺の歴史ー創建時の背景などについて

国際日本文化研究センター客員准教授 山口博之氏

- ・読んでおきたい『奥の細道』以外の芭蕉の紀行文(1)

放送大学山形学習センター所長・山形大学名誉教授 山本陽史氏

- ・読んでおきたい『奥の細道』以外の芭蕉の紀行文(2)

放送大学山形学習センター所長・山形大学名誉教授 山本陽史氏

- ・参加者数 16名

(前年度は参加者 18名)

⑨奥の細道マイスター養成講座

俳句と芭蕉、「奥の細道」についての知識を深めるとともに、山寺芭蕉記念館の博物館としての役割と収蔵品の特徴を知ることが目的として開催した。

○日時、参加者数、内容

- ・2月1日(土) 参加者 一般参加者 17名 奥の細道マイスターの会会員 15名
「奥の細道とはどんな旅だったか」

講師 山本陽史氏(放送大学山形学習センター所長・山形大学名誉教授)

「義経・源平伝説と芭蕉」

講師 山本陽史氏(放送大学山形学習センター所長・山形大学名誉教授)

「芭蕉・蕪村・一茶・子規、それぞれの時代と句」

講師 山本陽史氏(放送大学山形学習センター所長・山形大学名誉教授)

「世界の中の日本文化 ーライシャワーの見た日本と山形ー」

講師 山本陽史氏(放送大学山形学習センター所長・山形大学名誉教授)

- ・2月2日(日) 参加者 一般参加者 15名 奥の細道マイスターの会会員 14名
「山寺芭蕉記念館の魅力」 講師 相原一士(山寺芭蕉記念館学芸専門員)

「描かれた『奥の細道』」 講師 佐藤 琴氏 (山形大学学術研究院教授)

「博物館を知ろう ー地域の宝を守るー」

講師 佐藤 琴氏 (山形大学学術研究院教授)

「奥の細道マイスターのガイド活動について」講師 奥の細道マイスターの会
(前年度は参加者数 27名)

⑩奥の細道マイスター養成講座 ガイド認定講座

奥の細道マイスター養成講座の「奥の細道教養講座」を受講された方で、奥の細道マイスターの認定を目指す方、及び山寺芭蕉記念館のボランティアガイドを目指す方のために行った。終了後は認定書を授与した。

○日時、参加者数、内容

- ・3月15日(土) 受講者 5名(内1名は課題提出による)

奥の細道マイスターの会会員 10名

「ガイドのアドバイスとリハーサル」 講師 奥の細道マイスターの会
「認定試験準備・個別指導」

講師 山本陽史氏(放送大学山形学習センター所長・山形大学名誉教授)
奥の細道マイスターの会

「認定試験」「結果発表・修了証書授与」

(前年度は参加者 15 名)

⑪ 芭蕉を偲んで投句しよう(一般の部・小中学生の部)

俳句の普及をはかるため、館内に投句箱を設置し、投句選を行った。

令和 6 年度より年度募集(4 月～3 月)から年間募集(1 月～12 月)に変更した。

○投句数 ・一般の部 91 句(前回 46 句)

・小中学生の部 35 句(前回 12 句)

○選者 ・一般の部 伊藤 寛氏(山形県俳人協会会長)

・小中学生の部 武田菜美氏(山形県俳人協会常任幹事)

⑫ ICTに係わる企画と情報管理

インターネットを媒体として、ホームページや SNS(フェイスブック)を活用して様々な情報を発信した。事業の予告や報告、芭蕉及び「奥の細道」に関する情報の公開を行い、山寺芭蕉記念館の活動の周知に役立てた。

○アクセス件数

<4 月から 3 月までの延 365 日間のアクセス件数>

	令和 6 年度	令和 5 年度
回数	77,415 件 (212 回/日)	149,476 件 (408 回/日)
人数	19,529 件 (54 人/日)	39,690 件 (108 人/日)

⑬ 『山寺芭蕉記念館だより』の作成〔年 1 回〕

事業の予告や報告、芭蕉及び「奥の細道」に関する情報の提供を行ない、山寺芭蕉記念館の活動の周知に役立てた。

(3) 茶席事業

①市民茶会(通年)

抹茶または煎茶の呈茶を行い、茶道作法など、茶道文化の啓蒙普及をはかるための事業を行った。

○実施状況

実施月	日数	利用者数(人)
4 月	1	46

5月	1	182
6月	0	0
7月	0	0
8月	0	0
9月	0	0
10月	0	0
11月	1	38
12月	0	0
1月	0	0
2月	0	0
3月	0	0
合計	3	266 (55.5%減)
前年度	7	598

() 内は前年度同期比 (%)

②茶房 芭蕉堂 (通年、但し市民茶会開催日を除く)

抹茶の呈茶を常時行い、茶道文化に親しむ一助とした。主に本館談話室で開催した。

○実施状況

実施月	日数	利用者数 (人)
4月	25	116
5月	29	201
6月	25	204
7月	29	93
8月	28	109
9月	28	153
10月	27	160
11月	25	87
12月	21	20
1月	24	25
2月	22	33

3月	27	59
合計	310	1,260 (19.1%減)
前年度	321	1,558

()内は前年度同期比(%)

③山寺感謝の茶会

山寺地区民に対し、平素から山寺芭蕉記念館の事業に理解と協力を頂いていることへの感謝の意を表して呈茶を行い、茶の湯に親しむ機会とした。

- 日 時 11月23日(土・祝)
- 参加者数 69名(前年度46名)

(4) 収蔵品の貸し出し

①山寺文化保存会

- 貸出資料 1 版画「山形の山寺 立石寺・仁王門」 坂田 燦 画
2 版画「立石寺の山上」 坂田 燦 画
- 期 間 令和6年10月27日
- 内 容 山寺コミュニティセンターで開催の山寺地区文化祭に出品のため。

②最上徳内記念館

- 貸出資料 紫式部詠月図自画賛 野々口立圃 筆
- 期 間 令和6年11月1日～11月19日
- 内 容 最上徳内記念館で開催の企画展「平安時代の薫り展」に出品のため。

(5) 収蔵品の掲載許可

①TBSテレビ

- 資 料 「紅花屏風」青山永耕 筆
- 期 日 等 令和6年7月14日
- 内 容 TBSテレビ「日曜版Nスタ天気コーナーSun トピ」にて使用。

②NHKエンタープライズ

- 掲載資料 「紅花屏風」青山永耕 筆
- 期 日 等 令和6年7月15日～
- 内 容 NHKワールド J A P A N 「Seasoning the Seasonsーやまがた 春夏色模様」にて使用。

③村山市

- 掲載資料 「紅花屏風」青山永耕 筆
- 期 日 等 令和7年4月1日～

- 内 容 最上徳内記念館動画「白き虹を見たー北方探検の先駆者・最上徳内ー」にて使用。

2. 運営懇談会、資料整備検討委員会に関する事項について

(1)令和6年度 山寺芭蕉記念館運営懇談会

- 日 時 令和6年10月24日(木) 午後2時
場 所 山寺芭蕉記念館 会議室
内 容 ①報告 ・令和5年度事業報告
・令和6年度事業経過報告
②懇談 ・令和7年度事業及び運営について
・その他

(2)令和6年度 山寺芭蕉記念館資料整備検討委員会 開催なし

3. 特筆すべき事項について

(1) 全館空調設備改修工事を行う

平成元年の開館以来、初めてとなる大規模な全館の空調設備の入れ替え工事が行われた。研修棟は7月8日から8月29日まで、展示室は8月30日から11月1日まで閉鎖して実施した。

(2) 『山寺芭蕉記念館収蔵名品図録』の刊行

山寺芭蕉記念館収蔵品の中から名品82点を選び掲載した『山寺芭蕉記念館収蔵名品図録』(112頁)を1月に刊行した。

(3) テレビュー山形「どすこい やまがた」の「山寺場所」で紹介される

テレビュー山形「どすこい やまがた」8月28日放送の山寺特集「山寺場所」の中で、開催中の企画展「妖怪」が紹介された。

(4) 「東北文化の日」に参加

「東北文化の日」推進委員会(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市)主催の「東北文化の日」に参加した。「東北文化の日」(令和6年度は10月26日、27日)を含む博物館関連施設イベントの情報を一体となって発信するもので、参加内容は特別展「芭蕉とその時代」開催期間中の11月3日“文化の日”の無料開放日。

(5) 山寺スタンプラリーのスタンプ設置

東日本旅客鉄道株式会社山形統括センター常務業務ユニットサービス推進委員会

の主催事業で、山寺周辺地域の活性化とPRのため、11月3日に行なった山寺スタンプラリーのスタンプ設置に協力した。

(6) 表千家同門会山形県支部支部茶会会場となる

5月26日、表千家同門会山形県支部支部茶会の会場として研修棟の全室が利用され、約230名が参加した。

(7) 山形県高等学校総合文化祭会場となる

10月11日、12日、第48回山形県高等学校総合文化祭 村山大会で、茶道専門部の会場として研修棟の全室を使用した。10月11日は約150名、12日は約300名の高校生が参加した。

4. 施設利用状況等について

(1) 臨時開館・臨時休館・時間延長について

期 日	区 分	説 明
4月1日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
4月8日(月)		
4月9日(火)	臨時休館	展示替えのため
4月10日(水)		
4月11日(木)		
4月15日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
4月22日(月)		
4月24日(水)	臨時休館	設備点検等のため
4月30日(火)	臨時開館	来館者サービスのため
5月7日(火)		
5月13日(月)		
5月15日(水)	臨時休館	設備点検等のため
5月20日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
5月27日(月)		
6月3日(月)		
6月5日(水)	臨時休館	設備点検等のため
6月10日(月)	臨時休館	展示替えのため
6月11日(火)		
6月12日(水)		
6月13日(木)		
6月17日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
6月24日(月)		

7月1日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
7月3日(水)	臨時休館	設備点検等のため
7月8日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
7月16日(火)		
7月22日(月)		
7月24日(水)	臨時休館	設備点検等のため
7月29日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
8月5日(月)		
8月13日(火)		
8月19日(月)		
8月26日(月)		
8月28日(水)	臨時休館	設備点検等のため
8月30日(金)	臨時休館	展示替えのため
8月31日(土)		
9月1日(日)		
9月9日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
9月17日(火)		
9月24日(火)		
9月30日(月)		
10月7日(月)		
10月15日(火)		
10月21日(月)		
10月28日(月)		
10月30日(水)	臨時休館	展示替えのため
10月31日(木)		
11月1日(金)		
11月5日(火)	臨時開館	来館者サービスのため
11月6日(水)	臨時休館	設備点検等のため
11月11日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
11月18日(月)		
11月20日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
11月25日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
11月27日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
12月2日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
12月4日(水)	臨時休館	設備点検等のため
12月9日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
12月11日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
12月16日(月)	臨時開館	来館者サービスのため

12月17日(火)	臨時休館	展示替えのため
12月18日(水)		
12月19日(木)		
12月23日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
12月25日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
12月28日(土)		
1月6日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
1月8日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
1月14日(火)	臨時開館	来館者サービスのため
1月15日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
1月20日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
1月22日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
1月27日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
1月29日(水)	臨時休館	設備点検等のため
2月3日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
2月5日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
2月10日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
2月12日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
2月17日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
2月18日(火)	臨時休館	展示替えのため
2月19日(水)		
2月20日(木)		
2月25日(火)	臨時開館	来館者サービスのため
2月26日(水)	臨時休館	設備点検等のため
3月3日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
3月5日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
3月10日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
3月12日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
3月17日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
3月19日(水)	臨時休館	設備点検等のため
3月24日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
3月26日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
3月31日(月)	臨時開館	来館者サービスのため

(2) 無料開放について

○市制施行記念無料開放:7月7日(日) 272名(前年度112名)

(内訳:大人231名、小中学生41名)

○文化の日無料開放：11月3日(日・祝) 429名(前年度495名)
(内訳:大人396名、小中学生33名)

(3) 気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設に係る協定(8月15日～10月23日)

気候変動適応法第21条第3項の規定に基づき、市有施設である当館がクーリングシェルター(指定暑熱避難施設)の対象施設として利用できるようにした。

最上義光歴史館

1. 事業計画による主催事業について

(1) 展示事業

①常設展/企画展示1「鐵[kurogane]の美2024 ～綾杉のきらめき －刀工月山～」

収蔵資料と寄託資料から、本県ゆかりの刀工「月山(古刀)」の作品を展示し、「綾杉肌(あやすぎはだ)」と称される独特の鍛えを紹介し、綾杉の煌きと郷土が生んだ刀工の作品を鑑賞し、郷土の文化財に対する関心を高め、興味と理解を深める一助とした。

- ・期 間 4月3日(水)から 6月30日(日) (延日数77日間)
- ・入館者数 8,364名 (1日平均約109名)

②常設展/企画展示2「収蔵名品展 ー武人と屏風ー」

収蔵資料から武人とかかわりのある名作屏風「四季花鳥図」「すすき図」「葡萄棚図」を展示し、武人が屏風を通して見ていた風景を鑑賞し、猛々しい武人のイメージと異なる美を求める文化人としての一面を理解する一助とした。

- ・期 間 7月3日(水)から 9月29日(日) (延日数79日間)
- ・入館者数 7,745名 (1日平均約98名)

③常設展/企画展示3「最上義光と連歌 ～文化人たちの集い～」

収蔵資料から最上義光が連衆として一座した連歌資料や義光と連歌に係わる資料を中心に展示し、義光と連歌会で一座した文化人たちを紹介し、併せて最上家の文化度の高さや連歌師里村紹巴と最上家との係わりなどを紹介した。

展示総数7点

- ・期 間 10月2日(水)から1月5日(日) (延日数78日間)
- ・入館者数 7,796名 (1日平均約100名)

④企画展「シン・市民の宝モノ2025 陶磁器編」

山形市民を対象に、所蔵する「宝モノ」を募集して、歴史館で選考して展示し、広く一般に公開する市民参加型の展覧会を開催した。今年度は募集テーマを「陶磁器」にした。

出品者 21名、出品件数 51件、出品点数 165点

- ・期 間 1月8日(水)から 3月30日(日) (延日数71日間)
- ・入館者数 4,567名 (1日平均約64名)

(2) 普及啓発事業

①歴史講座

こども講座「ヨシアキ☆すく～る!？」

山形市内の小学校に出向き、最上義光を中心に郷土の歴史や文化を学ぶ機会をつくり、郷土史に対する関心と理解を深め、愛郷心の育成を図った。

	令和6年度	令和5年度
実施校数	11校	12校
参加生徒数	668人	622人
講師	31人	32人

日 時	対 象	講 師 (最上義光歴史館 サポータークラブ 「義光会」)
7月17日(水) 11時～11時45分	山形市立第一小学校 四年生 42名	3名
10月9日(水) 10時50分～11時35分 11時45分～12時30分	山形市立第六小学校 四年生 56名	3名
10月22日(火) 9時40分～10時25分	山形市立第三小学校 四年生 69名	2名
10月24日(木) 11時～11時45分	山形市立出羽小学校 四年生 70名	3名
10月25日(金) 9時40分～10時25分	山形市立鈴川小学校 四年生 87名	3名
10月29日(火) 10時50分～11時35分 11時40分～12時25分	山形市立第八小学校 四年生 59名	3名
11月1日(金) 11時～11時45分	山形市立桜田小学校 四年生 42名	3名
11月26日(火) 13時40分～14時25分	山形市立西山形小学校 四年生 9名	2名
11月29日(金) 8時50分～9時35分 9時40分～10時25分 10時50分～11時35分	山形市立みはらしの丘小学校 四年生 96名	3名
12月4日(水) 10時35分～11時20分	山形市立東小学校 四年生 69名	3名
1月 9日(木) 10時45分～11時30分	山形市立第十小学校 四年生 69名	3名

②ボランティアに係わる事業
「義光塾」

最上義光や郷土の歴史について多角的に学習して、来館者に対して幅広い知識で接遇が可能となるようにスキルアップを図った。

(回数3回：参加者総数67名)

内容、講師、日時、会場、受講者数、の順で記載

- ・「戦国武将の連歌のよみ方」
生田慶穂氏（山形大学人文社会科学部准教授）
10月3日(木) 10時から12時まで
最上義光歴史館 研修室 受講者28名
- ・「天正11～14年頃の最上氏と伊達氏周辺(前編)」
菅原義勝氏（致道博物館学芸員）
3月2日(日) 13時30分から15時30分まで
最上義光歴史館 研修室 受講者20名
- ・「天正11～14年頃の最上氏と伊達氏周辺(後編)」
菅原義勝氏（致道博物館学芸員）
3月23日(日) 13時30分から15時30分まで
最上義光歴史館 研修室 受講者19名

「現地研修会」

最上家や郷土の歴史に関する史跡等を現地研修し、現地に赴くことによってボランティアが郷土史と文化財に対する知識と理解を深め、来館者に対してより質の高い接遇が可能となるようにスキルアップを図った。

- ・日 時 9月24日(火)
- ・内 容 伊達政宗と政宗の実母で最上義光の妹保春院ゆかりの地（宮城県仙台市方面）を目的地とし現地研修した。
- ・研修先 ①保春院(伊達政宗実母菩提寺)
②瑞鳳殿(伊達政宗霊屋)
③仙台城(青葉城址/仙台藩伊達家の居城)
④国宝 大崎八幡宮(仙台城下の総鎮守。最上家の本家大崎家ゆかり)
⑤覚範寺(伊達輝宗の菩提寺・輝宗と保春院の墓)
⑥若林城(伊達政宗隠居城) ※車窓から
⑦北目城(伊達家ゆかりの城) ※車窓から
- ・参加者31名

(3) 調査研究事業

・東根里見家資料調査（2月15日・16日）

徳島市在住の個人所蔵の最上家家臣・東根里見家ゆかりの資料について、山形大学人文社会科学部准教授生田慶穂氏に依頼し現地で資料調査を行った。

(4) その他の事業

① I T Cに係わる企画と情報管理

インターネットを媒体として、ホームページを活用して様々な情報を発信するとともに、企画から物販まで幅広く展開した。

山形城の御城印と御城印帳の販売を行った。

・ホームページアクセス件数（4月から3月までの延365日間のアクセス件数）

<一般ページ>

	令和6年度	令和5年度	前年度比
回数	700,688回(1,920回/日)	902,325回(2,465回/日)	22.3%減
人数	81,388人(223人/日)	166,658人(455人/日)	51.2%減

<こどもページ>

	令和6年度	令和5年度	前年度比
回数	16,651回(46回/日)	21,674回(59回/日)	23.2%減
人数	1,641人(5人/日)	5,881人(16人/日)	72.1%減

<スマートフォンサイト>

	令和6年度	令和5年度	前年度比
回数	252,485回(692回/日)	199,017回(544回/日)	26.9%増
人数	5,528人(15人/日)	52,223人(143人/日)	89.4%減

②文化庁博物館支援事業

令和6年度文化芸術振興費補助金 Innovate MUSEUM事業へ参加

・事業名 地域の記憶「共創」アーカイブ事業

・事業者 山形アーカイブ実行委員会会長 大喜直彦（山形大学附属博物館館長/山形大学教授）※大城 啓当館館長は副会長

・事業目的 山形市中心市街地に係る資料と風景とオーラルヒストリーや地域の博物館が収集してきた資料などをデジタル化して共有する仕組み(デジタルアーカイブ)をつくる。成果品は中心市街地の活性化や文化観光の推進、国際交流、次世代教育への活用、文化遺産の防災等に利活用する。

・事業内容(当館)

当館収蔵資料のデジタルアーカイブ化。特に最上家や郷土史に係る資料の撮影及び台帳整備を行う。本年度は、山形城下絵図4点の撮影を行った。

③収蔵資料の貸出

○木曾義仲最期図・屋島合戦図屏風 一双

・期間 令和6年7月13日(土)から同年8月25日(日)まで

・貸出先 長野県立歴史博物館(長野県千曲市大字屋代260-6)

- ・内 容 長野県立歴史博物館が開催する開館30周年記念 令和6年度
長野県立歴史博物館夏季企画展「疾風怒涛 木曾義仲 ～文書
と絵画で見る義仲の一生～」の展示資料として

④収蔵資料の撮影及び利用等

○長谷堂合戦図屏風(複製)

- ・使用目的 BS11『偉人・敗北からの教訓 #54 前田慶次』(令和6年7月27日放送)で映像使用

- ・申請者 move up

○長谷堂合戦図屏風(複製)

- ・使用目的 BS11、BS11+、U-NEXT、FODで『偉人・素顔の履歴書直江兼続編』で映像使用

- ・申請者 move up

○最上義光所用三十八間総覆輪筋兜

最上義光所用鉄製指揮棒

長谷堂合戦図屏風(複製)

- ・使用目的 NHK番組「歴史探偵」戦国ご当地大名シリーズ・最上義光(令和6年10月30日放送)で映像使用。

- ・申請者 NHK大阪放送局

○『山形県史談』所載「最上義光像」

- ・使用目的 テレビ朝日「クイズプレゼンバラエティーQさま!!!」47都道府県で大調査!わが県のNo.1偉人ランキングSP!(令和6年9月2日放送)で映像使用予定。

- ・申請者 株式会社テレビ朝日

○長谷堂合戦図屏風(複製) 六曲一双(右隻・左隻)

- ・使用目的 BSフジ「日本の新常識13」(令和6年9月21日20:00-20:55放送)で映像使用

- ・申請者 株式会社トリックスター

○長谷堂合戦図屏風(複製) 六曲一双(右隻・左隻)

- ・使用目的 NHK山形放送局の『やままる(18:10～)』内の『やまがた百名山』で城山(長谷堂城跡)を紹介する回(令和6年11月19日(火)放送予定)で使用

- ・申請者 NHK山形放送局『やまがた百名山』

○最上義光歴史館全景

- ・使用目的 「山形駅西口ワシントンホテル」の楽天トラベルサイトに掲載

- ・申請者 株式会社デルマー

○企画展「シン・市民の宝モノ2025」の紹介

- ・使用目的 NHK山形放送局「やまホリ」で紹介(令和7年1月11日9時から9時30分で放送)

- ・申請者 株式会社CURI OUS P R O D U C T I O N S、NHK山形放送局

○長谷堂合戦図屏風(複製) 六曲一双(右隻・左隻)

『山形県史談』所載「最上義光像」

- ・使用目的 山形県立博物館常設展示のリニューアルに伴う解説映像の制作。
山形県立博物館第2展示室 解説映像

- ・申請者 山形県立博物館

○長谷堂合戦図屏風(複製)(左隻)

- ・使用目的 テレビ東京系列「開運!なんでも鑑定団」で映像使用(令和7年4月1日20時54分から21時54分ほか放送)

- ・申請者 株式会社ネクサス

⑤印刷物等への利用

○長谷堂合戦図屏風(複製) 大将最上義光公部分

- ・目的 『2025年版戦国武将大全カレンダー(仮称)』監修:小和田泰経氏に掲載『2025年版戦国手帳』監修:小和田哲男氏に掲載

- ・申請者 株式会社コミュニティネット

○最上義光所用三十八間総覆輪筋兜

- ・目的 『戦国武将No.1図鑑(仮)』に最上義光を紹介する箇所で使用

- ・申請者 株式会社かみゆ

○最上義光所用三十八間総覆輪筋兜

- ・目的 『秀吉の天下統一—奥羽再仕置』(江田郁夫編)に掲載

- ・申請者 株式会社勉誠社

○『山形県史談』所載「最上義光像」

長谷堂合戦図屏風(複製)(左隻)

- ・目的 『歴史人』増刊号 印刷版及び電子版で使用

- ・申請者 株式会社エディキューブ

○長谷堂合戦図屏風(複製) 右隻第一扇 志村伊豆守部分

- ・目的 「ゆざ酒田歴史日めくりカレンダー」に掲載

- ・申請者 米田佐之助(大井康嗣)

○長谷堂合戦図屏風(複製)(右隻)

- ・目的 「シリーズ藩物語」『磐城平藩』に掲載

- ・申請者 株式会社現代書館

⑥その他

○スワンヒル地方市訪問団への案内及び甲冑着用体験

- ・日時 4月16日(火) 14時から

- ・内容 最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」がスワンヒル地方

市訪問団に館内案内及び着用体験の着付け作業を行った。

- ・参加者 スワンヒル地方市訪問団 23 名、義光会 6 名
- 最上義光命日記念イベント
 - ・日 時 1 月 18 日(土)
 - ・内 容 最上義光の命日を記念して、記念品の配布と P R と甲冑姿の最上義光による賑やかしを行った。

2 運営懇談会、資料整備検討委員会に関する事項について

(1)令和 6 年度 最上義光歴史館運営懇談会

- 日 時 令和 6 年 7 月 31 日(水) 午前 10 時 30 分～
- 会 場 最上義光歴史館会議室
- 内 容 ①報告 ・最上義光歴史館令和 5 年度事業報告
・最上義光歴史館令和 6 年度事業経過報告
②懇談 ・最上義光歴史館令和 7 年度事業及び運営について

(2)令和 6 年度 最上義光歴史館資料整備検討委員会

開催なし

3 特筆すべき事項について

(1) 義光会、最上義光武将隊等イベント参加

- ・4 月 8 日、9 日 霞城観桜会の最上義光武将隊賑やかし
- ・10 月 6 日 第 11 回山形まるごとマラソン 沿道(山形城二の丸北門)での応援御城印出陣式イベント補助
- ・10 月 12 日 街なか賑わいフェスティバル 2 0 2 4 イベント補助と最上義光の啓発活動

(2) 広告掲載

- ・『そばマップ 2 0 2 3 版 v o l . 2 6 』へ広告掲載
 - 配布枚数 23,000 枚
 - 配布場所 掲載そば店 30 店舗、山形市周辺観光関係施設、山形市周辺宿泊施設他

4 施設利用状況等について

(1) 臨時開館・臨時休館・開館時間延長

期 日	区 分	説 明
4 月 2 日(火)	臨時休館	展示替え作業のため

4月13日(土)	開館時間延長(19時まで)	観桜会開催のため
4月14日(日)	開館時間延長(19時まで)	観桜会開催のため
7月2日(火)	臨時休館	展示替え作業のため
8月5日(月)	臨時開館 開館時間延長(18時まで)	花笠祭りのため
8月6日(火)	開館時間延長(18時まで)	花笠祭りのため
8月7日(水)	開館時間延長(18時まで)	花笠祭りのため
8月13日(火)	臨時開館	お盆期間のサービス拡大のため
10月1日(火)	臨時休館	展示替え作業のため
1月7日(火)	臨時休館	展示替え作業のため

(2) 気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設に係る協定(8月8日~10月23日)

気候変動適応法第21条第3項の規定に基づき、市有施設である当館がクーリングシェルター(指定暑熱避難施設)の対象施設として利用できるようにした。

公益財団法人山形市文化振興事業団

1. 理事会・評議員会について

(1) 第1回理事会

- 日 時 令和6年5月27日(月) 午前11時
場 所 山形グランドホテル アルカス
議 事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和5年度事業報告
及び決算の承認について (原案どおり承認可決)
第2号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団最上義光歴史館運営
懇談会委員の委嘱について (原案どおり承認可決)

(2) 定時評議員会

- 日 時 令和6年6月14日(金) 午前11時
場 所 山形グランドホテル アドリア
議 事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和5年度事業報告
及び決算の承認について (原案どおり承認可決)
第2号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団評議員の選任について
(原案どおり承認可決)
第3号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団役員を選任について
(原案どおり承認可決)

(3) 第2回理事会

- 日 時 令和7年3月19日(水) 午前10時
場 所 山形グランドホテル 白鳥
議 事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和6年度正味財産増
減補正予算について (原案どおり承認可決)
第2号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和7年度事業計画及
び正味財産増減予算について (原案どおり承認可決)
第3号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和7年度定時評議員
会の開催について (開催の日時、場所、目的を決定)

2. 監査に関する事項について

(1) 令和5年度事前監査

- 日 時 令和6年5月10日(金) 午前9時30分
場 所 山寺芭蕉記念館 会議室

(2) 令和5年度監査

日 時 令和6年5月14日(火) 午後3時

場 所 最上義光歴史館 会議室